



▲商大雪あかりの路2010

小樽商科大学 広報誌

Hermes Courrier

ヘルメス・クーリエ

2010. March

No. 25

小樽商科大学「公開講座」「通常授業公開講座」
特集：学びの可能性を広げます …1



▲通常授業公開講座(言語文化論) 嘉瀬達男准教授

- 百周年コラム5 3
 - 創立100周年記念カレンダーを作成しました
 - 創立100周年の横断幕を設置しました
- 商大生留学体験レポート 4
 - 小さな大学だからこそその仲間意識
 - 現地の日本人とも積極的に交流
 - 治安の良いアイランドは快適でした
- 商大雪あかりの路20105
 - ほっけ料理フェア in 雪あかり
- 商大生頑張ってます! Part 46
 - [小樽笑店] クリスマスイベント「サンタモール一番街」
 - [めらめら連合]「雪あかりの路」の小樽で大借り物競争ギネス記録更新に挑戦
 - 商大生2名が2009年度ミス札幌として活躍!
- INFORMATION7

小樽商科大学「公開講座」「通常授業公開講座」

学びの可能性を広げます

「小樽の街を訪れる外国の方と話をしてみたい。」「仕事に役立たせるために、もう少し専門的なことを勉強してみたい。」「これまで忙しくて学べなかったけれども、リタイアして時間にも余裕ができたので、もう一度学び直してみたい。」思いはそれぞれでしょうが、学ぶ意欲にあふれた多くの方々が「公開講座」そして「通常授業公開講座」を受講するために、大学の門をくぐっておられます。

地域と大学との交流を深め、大学の知を市民の皆様役に立ていただくため、本学は二種類の公開講座を開講しています。一般市民向けに特別に用意された、いわゆる「公開講座」と、本学の夜間主コースの正規授業を受講する「通常授業公開講座」です。前者は50年近くの歴史をもち、また後者も来年度で7年目を迎え、多くの方々に学ぶ場を提供してきました。

市民向け「公開講座」は古く昭和30年代には「中小企業の労働問題」「会計計算規定」といった堅いテーマが並んでいましたが、昭和60年代には「市民スポーツ実技研修」「小樽の再開発と活性化」「世界の思想家と文豪」といった、より身近な健康や社会問題、そして教養色の強いテーマが扱われるようになりました。近年は「外国人による集中語学(中国語、韓国語、ロシア語、英語)講座」が継続して開講されており、強い支持を受けております。講習料をお払いいただくことで、学ぶ意欲のある方ならどなたにも開かれており、テストもありません。受講されている方は年齢や職業もきわめて多様で、まさに多士済々、リピーターの方も多く、年間延べ30名以上にも及んでおります。

平成16年からは、お勤め帰りにも受講できるように、夜間主コースの授業(17:45~19:15、19:25~20:55)の一部も「通常授業公開講座」の名のもとに一般の方々に開放しております。その内容は、ドイツ語、フランス語、中国語の入門や、文系の歴史学、文学、社会学から理系の数学、化学、生物学にいたる一般教育、そして本学の各学科(経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科)が提供する専門科目と幅広く、受講する方の関心にそえるようになっております。大学の雰囲気も味わえる、ということで満足度も高く、受講していただいている方は一年間に延べ60名以上にも達し、前述の市民向け「公開講座」を受講したことをきっかけに参加される方も少なくありません。学ぶことに対する社会人のみなさまの真摯さに、一緒に学んでいる現役の学生もたいへんな刺激を受けております。

さらに本格的に学びたいとの意欲をもっていらっしゃる方は、「科目等履修生制度」を利用し、昼間コースや夜間主コースの授業を受講することもできます。「公開講座」、「通常授業公開講座」とは異なり、こちらは一般学生と一緒に試験を受け、合格すれば単位が認定されるというものです。

本学での学びに興味のある方は、次頁下段までお問い合わせ下さい。



▲通常授業公開講座(生活と健康)
田野有一特任教授



▲公開講座(韓国語講座)
宣憲洋非常勤講師



▲通常授業公開講座(商法)
河森計二准教授



▲公開講座(ロシア語講座)

附属図書館主催「ゆめぽーとライブ」

本学附属図書館は、これまで蔵書の貸出など、大学の知的財産の共有に努めてきました。これを一歩進めて、昨年より主に本学の名誉教授を講師とする公開講座「ゆめぽーとライブ」を企画しています。今年も実施の予定ですので、ご期待下さい。

ゆめぽーとライブ一覧

- 第1弾 「ゲーテ『ファウスト』を読みませんか」
中川勇治本学名誉教授 (平成21年1月~2月)
- 第2弾 「ノーマ・フィールドさんの『小林多喜二』を読みませんか」
荻野富士夫本学教授 (平成21年4月~5月)
- 第3弾 「会計の歴史と言語」
久野光朗本学名誉教授 (平成21年7月)
- 第4弾 「D. H. ロレンスと『チャタレー夫人の恋人』」
豊国孝本学名誉教授 (平成21年10月)

受講生の声

外国人による集中中国語講座

自分の語学力が
よく確認できた

番 雄一郎さん



私が中国語に興味を持ったのは、高校生のころから「水滸伝」「三国志」といった本が好きだったこと、そして私の娘が以前、中国へ留学しており卒業する前に娘を訪ねて旅行したことがきっかけです。それまでラジオの中国語講座で独学で勉強し、商大の公開講座を知ってからは、すでに3年連続で受けています。学校という教育機関から離れて長い時がたちましたが、商大のキャンパス内で語学を体系的に教わるという体験は、私にとって素晴らしい学びの時間でした。中国人の先生はお人柄もよく、教え方も丁寧。ネイティブの方と会話ができ、とても貴重な体験でした。話すことに多少の自信はありましたが、聞き取りは難しく苦労しました。自分がどの程度の実力なのか、ラジオ講座では確かめにくかったことが、はっきりとわかり役に立ちました。

受講生の声

夜間主コースフランス語公開授業

教室で学ぶ喜びを
あらためて知った

稲垣 あけみさん



昨年春から1年間、フランス語I(初級)の授業を学生さんたちと共に受講しました。私は、小樽市内で切りガラスの職人として仕事を持ち、3人の子を持つ主婦でもあります。パリでの展示会に自分の作品を出品し、なおかつ渡仏することになったことをきっかけに、せめて挨拶や簡単な会話ができればと思っていました。そんなとき、友人が商大の公開授業のことを教えてくれたのです。もちろんフランス語の知識はゼロ。しかし、主に発音を中心に簡単な文章を読むなどの勉強がとても楽しく、週2回の授業が待ち遠しかったです。しかも1年間で約2万円の授業料は断トツにリーズナブル！子どもたちも応援してくれました。そして私は、フランス語の基礎を覚えパリへ。3週間の滞在中、道をたずねたり、お店で注文をするなど勉強したことが活かされ感激でした。

公開講座に関するお問い合わせ先

講座の詳しい内容、申込方法はホームページとパンフレットに掲載しています。パンフレットは無料で送付いたしますので、お気軽に電話、FAXまたは電子メールでご連絡ください。

学務課学部教務係

TEL 0134-27-5244 FAX 0134-27-5243

E-mail gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

URL <http://www.otaru-uc.ac.jp/gakugai.html>

小樽商科大学
平成22年度公開講座【予定】

1. 公開講座

開講日数は10日間(計15時間)、受講料は1講座7,200円、各講座とも対象は一般市民、定員は12~20名です。

■「外国人による集中中国語講座」

- 開講場所/本学言語センター マルチメディアホール
- 開講期間/平成22年4月14日(水)~6月30日(水)
- 開講時間/18:30~20:00
- 講師/高 翔(こう しょう)

■「外国人による集中ロシア語講座」

- 開講場所/本学言語センター マルチメディアホール
- 開講期間/平成22年4月12日(月)~6月21日(月)
- 開講時間/18:30~20:00
- 講師/アレクサンドル・ポリソヴィッチ・スベヴァ
コフスキー

■「外国人による集中韓国語講座」

- 開講場所/商大駅前プラザ
- 開講期間/平成22年5月11日(火)~7月13日(火)
- 開講時間/18:30~20:00
- 講師/宣 憲洋(そん ほんやん)

■「外国人による集中英会話講座」

- 開講場所/本学言語センター マルチメディアホール
- 開講期間/平成22年4月21日(水)~6月30日(水)
- 開講時間/18:00~19:30
- 講師/ジェイミー・ケンプ

■「日本語学入門」

- 開講場所/本学言語センター マルチメディアホール
- 開講期間/平成22年5月12日(水)~7月21日(水)
- 開講時間/18:00~19:30
- 講師/高野 寿子

2. 公開授業(通常授業公開講座)

開講期間は、前期(4月7日~7月28日)、後期(10月1日~翌年2月7日)、夏学期(①8月16日~8月23日②9月1日~9月8日③9月9日~9月16日)、受講料は、1科目につき9,200円(外国語科目は通常週2回で22,200円、いずれも教材費別)、受入可能人数は若干名~20名です。

- 開講科目
- 【共通科目】 外国文学、歴史学、倫理学
数学、政治学、人文科学特別講義
心理学、社会思想史
日本文学、生物学、基礎数学
言語コミュニケーション論、化学、社会学
- 【専門共通科目】 自然と科学、社会心理と政治行動
人間と文化論
- 【外国語科目】 ドイツ語、フランス語、中国語
- 【経済学科】 経済と統計、金融経済、経済理論
応用ミクロ経済学、経済学入門
- 【商学科】 金融システム論、簿記原理、経営学原理
経営管理論、経営史
- 【企業法学科】 国際経済法、刑法、民法、憲法
行政法、商法、法学
- 【社会情報学科】 情報処理基礎、情報システム論
知識科学基礎、社会計画、統計科学
社会情報入門、情報と職業、組織情報論
情報処理、計画数学



創立100周年記念カレンダーを作成しました

来年に控えた創立100周年を広く知っていただくため、2010年版カレンダーを作成し、学生や卒業生、市民の方々に配付しました。本学卒業生である平山幹昌氏による絵画『地獄坂の眺め』を用い、入学式や卒業

式、創立記念日等の行事を記載しています。

平山氏（昭和28年卒業）によると、この絵は昭和62年に描かれたもので、それより33年前の忘れがたい思い出を再現して描いたそうです。絵の中で佇む二人の人物は、ひとり平山氏ご自身、もう一人は数学の武隈良一教授。卒業後、教員免許取得に必要な手続きに訪れた大学からの帰途、4年半ぶりに地獄坂で遭遇した武隈先生が、欠席しがちだったかつての教え子に「平山君」と声を掛けてくださったことに感激し、絵に描き入れたとのこと。「その時、先生とどんな言葉を交わしたか、動揺して記憶がない。お別れしてから胸の中が熱かった。先生は名前を憶えておられたのだ。」（平山幹昌画集『緑丘回想』より）



あの日、明るい気持ちになって降りた地獄坂を33年後にまた登り、校門の少し上に画架を立てた平山氏は、かつては見られなかった女子学生の姿に、長い時の経過を思い知らされたそうです。それからまた20余年、創立100周年を迎えようとしている商大のキャンパスには、いよいよ女子学生の姿が目立ち、また、かつて氏が絵筆を手に仰ぎ見たポプラの巨木も今はありません。しかし、急勾配の地獄坂の上から並木の枝越しに見る石狩湾と平磯岬の眺望は、創立の頃から変わることなく、いつの時代の卒業生の心にも深く描き込まれる商大の原風景といえるものでしょう。



創立100周年の横断幕を設置しました

横断幕の左は学章「ヘルメスの翼に一星」で、ヘルメスは伝令、商業、学術の神様。その翼の上にある星は、古くからの商大のキャッチフレーズ「北に一星あり、小なれどその輝光強し」を表しているんだ。右の「100周年記念ロゴマーク」は、小樽商大の「小」の字をモチーフに、中央の学生が左右に「修学」と「人格形成」の翼を広げ、大きく世界にはばたく姿をイメージしているよ。



▲学生センター入口に掲げられた横断幕

創立百周年記念 募金のお願い



▲旧本校舎らせん階段

創立百周年記念事業を推進するため、本学は皆様、その趣旨へのご賛同とともに、ご支援ご協力を「小樽商科大学創立百周年記念募金」にてお願いしております。その目的は、①新学生寮の建設、②教育研究振興基金（仮称）の創設、③百年史編纂、④記念式典・記念講演・国際シンポジウムの開催、⑤学生企画による記念事業、⑥キャンパス美化等の環境整備事業となります。詳しくは、創立百周年記念事業推進室にお問い合わせ下さい。また、「募金趣意書」や本学HP内の専用ページ等も是非ご覧下さい。（<http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomu1/100th/kihu.htm>）

【記念式典・祝賀会】 平成23年7月8日（金）
場所：グランドパーク小樽

【緑丘百周年祭】 平成23年
7月9日（土）・10日（日）
場所：大学構内
9日（土） ①記念祝賀会・記念講演会
／学生・父母・卒業生・教職員を
中心とした各種イベント
②ホームカミングデー
／模擬講義・現役生 卒業生合同
部活等の各種イベント
10日（日） 市民・学生・教職員・卒業生に
よる各種イベント

平成23年を百周年の記念年間として、上記の他、講演会、国際シンポジウム、記念コンサート等、様々な事業を年間を通して開催する予定です。

【創立百周年記念事業推進室】 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
TEL 0134-27-5492 FAX 0134-27-5493 E-mail ouc100nen@office.otaru-uc.ac.jp

商大は、アジア、北米、ヨーロッパ、オセアニアの19大学と学生交換協定を結び、多数の学生を派遣しています。今、海外で頑張っている学生は、何を学び、何を感じているのでしょうか。あるいは帰国してみても、あらためて思うことは？ そこで文明の利器Eメールを用いて、派遣学生たちに近況を突撃取材してみました。今号では、米国、アイスランド、中国への派遣学生3名からの報告をお伝え致します。

小さな大学だからこそその仲間意識

経済学科4年 美馬 達哉

派遣先／オグレスープ大学 (アメリカ)
派遣期間：平成21年8月～平成22年5月



私が現在通っているオグレスープ大学 (Oglethorpe University) は、アメリカにおいてはかなり小さな大学です。敷地は小樽商科大学よりも大きいのですが、「規模」はそれほど大きくなく教室の数も商大よりも少ないです。しかしそれがこの大学に留学する一番の強みにもなります。というのもキャンパス内に住む学生がほとんどなのですぐに多くの人と知り合えます。授業に行こうとすれば向こうからはすでに授業を終えた友達が歩いてきます。当然の様に挨拶し、当然の様に会話が弾み、英語を学ぶ上ではこれ以上のことはないと思います。色々な人と話すことによって様々な英語を聞くことが出来ます。人によっても英語の使い方は全然違うのです。大きな大学ではなかなか難しい、「友達の輪を広げる」ということがとても容易です。小さな大学だからこそみんなの仲間意識も強く、同じ授業を取っている人はもちろん、過去に取っていた人も比較的見つけやすく、勉強で困ったときはいつでも助けてくれます。授業も日本には無いような珍しいものも多く、写真学やヒップホップ学、私が今取っている建築学などがあります。留学生活を送る上でこういう日本との違いを感じ取るのもすごく刺激になります。もしアメリカ留学に興味があるなら、自信を持ってお勧めできる良い大学だと思います。



前列左から2人目が美馬君

現地の日本人とも積極的に交流

社会情報学科3年 戸村いづみ

派遣先／東北财经大学 (中国)
派遣期間：平成21年9月～平成22年7月



私は、現在中国大連市にある東北财经大学に交換留学生として1年間の留学にきています。中国に来てもうすぐ半年が経ちますが、毎日新しいことだらけでとても充実した日々を送っています。東北财经大学には本科生も合わせて約300人以上の留学生が在籍しており、クラスは中国語初級A、B、中級A、Bに分かれていて、1クラス20人ほどで授業を行います。授業は月曜日から金曜日まで午前中だけです。クラスには韓国人、タイ人、ロシア人が多く、日本人は比較的少ないと思います。午後は财经大学日本語学科の学生と相互学習をしたり、街に出掛けて買い物をしたりしています。中国は物価が安く外食をすることが多いので、安くておいしいお店を開拓するのも留学生活の楽しみのひとつです。



前列左が戸村さん

また、大連には日系企業が多く進出しており、他の地域に比べて日本人が多いです。日本語学習者もたくさんいます。大連に来たばかりの頃はせっかく留学に来たのに日本人と関わってばかりではいけないと思い、日本人が多いこの町に来たことを少し後悔しました。しかし、同じ日本人であれ、大連に来ていなければ出会えなかった人たちなので、現在は日本人とも積極的に交流し、親睦を深めています。前半の半年があつと言う間に過ぎてしまったように、後半はもっとあつと言う間に終わってしまうと思います。あと半年で何が出来るのか、よく考え、充実した留学生活を送りたいです。そして何より楽しんで帰りたいと思っています。

治安の良いアイスランドは快適でした

商学科3年 杉山 弥央

派遣先／ビフロスト大学 (アイスランド)
派遣期間：平成21年4月～平成21年12月
(帰国済み)



私が交換留学生として派遣されたビフロスト大学というところは、アイスランドの首都レイキャビクから100kmほど離れた場所に位置しています。キャンパス内には校舎はもちろん、学生たちが住む寮、図書館やジム、温水プールやコーヒーハウスがあります。キャンパスの周りには自然がいっぱいで、火山や湖、滝があり、よく友達と散歩や山登りをしてたくさん自然と触れ合えました。また、レストランも2軒ほどあります。そして各国から来る交換留学生用に、車が1台与えられます。その車を使って、20kmほど離れた安売りスーパーマーケットに買い物に行ったり(キャンパス内にも一応スーパーマーケットはあるのですが、少し高価なので普段はあまり利用しません)、週末には他の留学生と共に旅行に出かけたりしました。また、首都レイキャビクまでは車の他に、バスでも行くことができ、週末はレイキャビクで過ごし、ショッピングや食事、パーティーを楽しむ人も多かったです。アイスランドはとても治安がよく、みんな部屋や車の鍵もかけないほどです(笑)。そして、皆とても優しくあたたかくて、困ったことがあると必ず助けてくれるので、留学する上での心配は皆無だと思います。交換留学先としてアイスランドを選ぶに当たって、日本人にとってはあまりなじみのない国なので少し不安ではありましたが、実際はとても素敵で良い国でした。



前列左が杉山さん



商大図書館学外開放のご案内
商大図書館 TEL 0134-27-5273
開館時間【通常期間】／(月～金)8:45～22:00、(土)10:00～19:30、(日・祝)10:00～17:00
〃 【休業期間】／(月～金)8:45～17:00、(土・日・祝)10:00～17:00



雪深い小樽の冬を彩る「小樽雪あかりの路」のイベントに合わせて、2月10日・11日・12日の3日間、商大キャンパスでも第6回目となる「商大雪あかりの路2010」を開催いたしました。

オブジェや雪のキャンドル、手作りのワックスボウル、商大生のメッセージでいっぱい紙コップキャンドルなどが灯されたキャンパスは幻想的な雰囲気にもまれ、ワックスボウルを作る体験会やあたたかい飲み物や食べ物を提供する「湯気のおもてなし」も人気でした。

商大生と教職員による手作りで、毎冬心をこめて趣向をこらす「商大雪あかりの路」に、来年はぜひ足を運んでみてください。

実行委員長 池澤 奈緒 (国際企画課)

商大雪あかりの路2010



ワックスボウルを手にする山本学長、大矢副学長、奥田副学長と商大の学生達



商大君のオブジェも登場



湯気のおもてなし



試験期間にもかかわらず、時間を見つけて準備する商大生



ほっけ料理フェア in 雪あかり 平成22年2月5日(金)~14日(日)

「小樽雪あかりの路」の期間中、小樽産ほっけを用いた創作メニューを1,000円以下で提供する食のフェアが開催されました。

この催しは、商大生が小樽の活性化を本気(マジ)で考えるプロジェクト「マジプロ2009」のアイデアをきっかけとし、本学ビジネス創造センター(CBC)、小樽市内の漁業関係者、飲食店が連携して企画されたものです。期間中は小樽市内のレストランや飲食店でさまざまなほっけのアイデアメニューが提供されました。



商大生冬も頑張ってます! Part4

商大生はキャンパス外でもユニークな活動を行っています。今回は、地元小樽商店街でのクリスマスイベント、「借り物競走」でのギネス記録挑戦、2009年度ミス札幌で活躍した学生達から寄稿していただきました。

小樽笑店

～クリスマスイベント「サンタモール一番街」～

企業法学科3年 高久 美由紀 (初代リーダー) 社会情報学科2年 松田 愛美 (現リーダー)

このサークルは、これまでの会計プロジェクトサークルから独立する形で発足しました。動機は街の活性化につながる活動を地元目線でやりたく、商店街と商大生をつなげるパイプ役が必要だと思ったからです。イベントだけをやり、消えてしまうようなサークルにはしたくありません。株式会社化し、永続的に小樽とかかわることが目標です。エコキャンドルやエコせっけんなどのオリジナル商品の開発販売、イベントの企画・運営などの社会貢献を目指しています。商大生や若者たちは、どうしても札幌へ流れてし



まいがちです。みんなを引きつける魅力のある小樽にするため、自分たちに何ができるかをいつも話し合っています。

今までの活動は、小樽の居酒屋さんから出る廃油を使ったエコキャンドルの制作販売。そして平成20年12月にサンモール一番街さんと協力して「サンタモール一番街」というクリスマスイベントを行い、商店街をエコキャンドルや手製の飾りつけで明るくにぎやかにしました。平成21年にその2回目を行い、今年の2月には都通り商店街「星の市～冬」で、道内作家の作品（アクセサリーや絵はがきなど）の委託販売も手がけました。当サークル主催でゴミ拾いも行っています。これからも小樽が笑いでいっぱいになるような活動を続けて行きたいと思っています!



左が松田さん、右が高久さん

めらめら連合

～「雪あかりの路」の小樽で大借り物競走ギネス記録更新に挑戦～

経済学科2年 清水 健介

「めら連」は人とのネットワークづくりを目的とした集まりで、昨年夏に3名で発足しました。商大生が地域と関わり、小樽の活性化につながる活動ができないかと模索していたとき、2月の「雪あかりの路」の時期に合わせてサンモール一番街、花園銀座商店街、都通り商店街の3商店街と共同でイベントをやらないかという声がかかりました。そこで企画したのが「借り物競走」のギネス記録挑戦です。その前年、滋賀県で行われた競争での



ギネス認定参加者記録は183名。この記録更新を目指し、私たちメンバーは商店街の方々に支えられながら準備や宣伝活動を行いました。

当日の商大スタッフは18名が集合。商店街は参加者をはじめ、マスコミや見物人で埋め尽くされ、いよいよスタート。4名一組で各商店街1点ずつの借り物をし、指定場所で写真を撮り戻って来るというギネス認定ルールに従いました。結果、参加者は188名! 最後にギネス申請用記念写真を撮り、「めら連」初の大きな活動は大成功のうちに終了しました。



商大生2名が2009年度ミス札幌として活躍!

商学科4年 赤坂 知恵

商学科2年 寺下 友香梨



私たちは、偶然にも同じように「大学生活のよき体験になれば」という気持ちで、2009年度のミス札幌選考にインターネットで応募しました。そして1月下旬札幌で行われた審査会で3名が選ばれ、表彰台へあがったときに、初めてふたりが同じ商大生であることを知りました。それから1年間、主に札幌や北海道のPRのため日本全国の百貨店、そして赤坂はアメリカへ、寺下はシンガポールへも出かけて行きました。ほかには札幌ライラック祭り、オータムフェスタなど、3名で合計80本ほどの仕事をこなしました。そして先月、2月5日から11日にかけて、最後の仕事である第61回札幌雪まつりを終え、今ホッとしているところです。ふたりとも勉強とアルバイトをしながらの活動でしたので体力的にきついこともありましたが、励まし合い、ときにはミス札幌が3人で集まり、いろいろなことをおしゃべりしたりして、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



左が赤坂さん、右が寺下さん



市民交流の場:小樽駅前プラザ「ゆめぼーと」をご利用下さい。
小樽市稲穂3丁目3番1号(小樽グリーンホテル別館内) TEL 0134-32-4624
開館時間/火曜日～土曜日 13:00～19:30

INFORMATION

「小樽商科大学シニアアカデミー2010」受講生を募集中

昨年の9月、プレ創立百周年記念事業として「小樽商科大学シニアアカデミー2009」を行いました。おかげさまで大変好評をいただき、本年も第2弾を実施することになりました。内容は7つの講義と2つのフィールドワークからなり、後者では小樽運河や歴史的建造物の見学、文学館等の視察、小林多喜二の墓参りなどが予定されています。その他、小樽市内の寿司店での歓迎パーティも用意されています。この機会に多数ご参加ください。

昨年の受講生の声はこちらをご覧ください。

URL <http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomu1/100th/senior2009.htm>

「小樽商科大学シニアアカデミー2010 ～小樽商大で学ぶ小樽の歴史・文化・観光～」

- 日 時 / 平成22年8月31日(火)～9月3日(金)
- 場 所 / 小樽商科大学・小樽市内の社会教育施設など
- 参加費 / 受講料として20,000円
(受講料にはプログラム内での移動交通費、記念写真代、関係施設の入場料、パーティ参加費用、2日目の昼食代が含まれます。なお、個人の宿泊費、交通費は含まれません)
- 募集人員 / 30名(最少実施人員:20名)
- 内容

| | |
|--|--|
| 1日目(8月31日) 【講義1】小樽の歴史的建造物 【講義2】地元企業からみた小樽(経済) | 3日目(9月2日) 【講義4】小林多喜二と伊藤整 【講義5】小林多喜二と伊藤整の手紙を読む 【フィールドワーク】その2 |
| 2日目(9月1日) 【講義3】 小樽の歴史・文化・観光そして小樽学 【フィールドワーク】その1 | 4日目(9月3日) 【講義6】小樽のまちづくり 【講義7】小樽の観光についての意見交換会 |

お問い合わせ先: 小樽商科大学シニアアカデミー実行委員会(小樽商科大学総務課総務係)
TEL 0134-27-5206・5207 FAX 0134-27-5213
E-mail shomu@office.otaru-uc.jp

平成21年度 小樽商科大学就職状況 就職に強い小樽商大

昨今の経済状況から今年就職戦線は大変厳しい状況で、テレビや新聞などでも、全国の大学生の苦難ぶりがたびたび報道されています。本学の学生も苦労したようですが、3月5日時点で就職を希望する学生の95.5パーセントが、無事、内定を得ることができました。冷え切った状況にあって、これは全国平均を大きく上回る数字で、学生個々の努力はもちろん、「就職に強い小樽商大」の伝統の力でもありましょう。

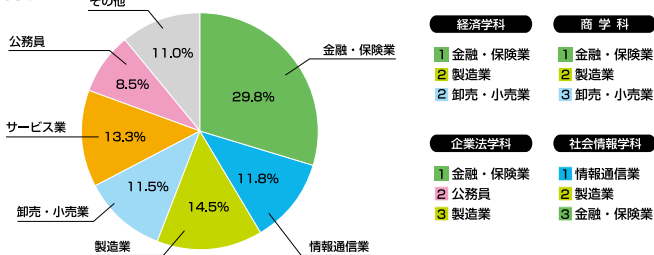
今後も本学は、「語学、実学、品格」の旗印の下、社会のニーズに応える学生の育成に努めてまいります。

■進路状況

| 区分 | 昼間コース | | | 夜間主コース | | | 合計 | | |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 |
| 内定率 | 97.0% | 94.5% | 95.8% | 88.9% | 94.4% | 91.7% | 96.3% | 94.5% | 95.5% |

| 区分 | 男子 | 女子 | 全体 |
|--------|-------|-------|-------|
| 道内本社企業 | 48.3% | 37.0% | 43.0% |
| 道外本社企業 | 51.7% | 63.0% | 57.0% |

■産業別状況



- 経済学科**
 - 1 金融・保険業
 - 2 製造業
 - 3 卸売・小売業
- 商学科**
 - 1 金融・保険業
 - 2 製造業
 - 3 卸売・小売業
- 企業法学科**
 - 1 金融・保険業
 - 2 公務員
 - 3 製造業
- 社会情報学科**
 - 1 情報通信業
 - 2 製造業
 - 3 金融・保険業

商大グッズ新商品誕生!

商大グッズに新商品が加わりました。高級感があって、とても使いやすい牛革ボールペンです。国際取引法ゼミの学生達が、授業で実際に行った外国との取引をとおして企画・制作した商品で、同ゼミ考案の商大認定グッズとしては、キーケース、名刺入れ、コインケースに次ぐ第4弾となります。大学生協の他、下記でも取り扱っておりますので、是非お買い求めください。



- ☆小樽真実館 ☆小樽運河プラザ ☆手宮博物館
- ☆小樽朝里クラッセホテル ☆小樽運河工芸館

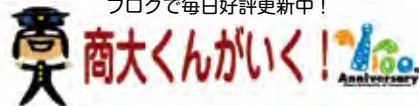
【商大グッズ好評発売中】

商大ラーメン、純米吟醸酒「小樽緑丘」、酒饅頭「商大饅頭」、商大くんストラップ、名刺入れ、エコバック、キーケース、シャープペンシル、ボールペン、オリジナルタオル、コインケース

平成22年度前期行事予定

| | |
|-------------|---|
| 4月 5日 | 入学式 於 本学体育館 |
| 7日 | 授業開始 |
| 6月24日～27日 | 大学祭 緑丘祭(昼間コース) 25日～27日 緑青祭(夜間主コース) 24日～26日 【ゼミやサークルの企画や発表の他、流しソーマンや花火大会などイベント多数】 |
| 7月 7日 | 創立記念日 1911年 小樽高等商業学校開校 1949年 国立大学昇格 |
| 29日～8月 5日 | 前期定期試験 |
| 8月 6日～9月30日 | 夏季休業 オープンキャンパス 高校生の皆さん向けに模擬講義や授業紹介、大学生生活や留学の相談などを行います。 |
| 15日 | 緑丘戦没者慰霊祭 生徒出陣で散った学生等347社の御霊を慰め、反戦を誓います。 |
| 9月30日 | 学位記授与式(9月卒業) |

学生や先生の活動、イベント、学内の風景等をブログで毎日好評更新中!



<http://d.hatena.ne.jp/shoudai-kun/>

編集後記

今回の特集は、「公開講座」「通常授業公開講座」でした。商大では古くから自らが拠って立つ地域を意識し、研究で蓄積された知見を身近な地域の人々に提供しようと取り組んできました。地域と大学が交流し、知を共有できる貴重な機会でもありますので、関心のある方は是非お問い合わせ下さい。(S)

編集スタッフ 尾形弘人、山本賢司、上野耕三郎、堺 昌彦

【ご意見・ご要望のお願い】

広報委員会では、読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より良い広報誌を作成する所存です。取り上げてほしい話題、質問したいことなど何でも結構です。下記にお寄せください。

E-mail kouhou@office.otaru-uc.ac.jp FAX 0134-27-5213

<http://www.otaru-uc.ac.jp>



バックナンバーはこちら
<http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomu1/hermes>

誌名の由来

ヘルメス(Hermes)は、ギリシャ神話の神の一人で伝令の神、また商業、学術などの神、クーリエ(courier)とはフランス語で郵便物のことですが「～通信」として新聞紙名等に用いられています。ですから「ヘルメス・クーリエ」とは「商大通信」であるご理解ください。